

災害時に威力を発揮するLPガス

ガスコンロやガス給湯器にガスを供給するLPガス（プロパン）はなじみの深いものだが、そのLPガスは、実は、災害時にとても役立つものだという。電気や都市ガスでは地震や台風により、供給がストップするような場合もあるが、プロパンは軒先に在庫（ボンベ）があるので、行政からも「エネルギー供給の最後の砦」と位置づけられている。また、災害時に避難所になる学校の体育館などの空調として使われるLPガスのGHPエアコンも注目されている。

九月一日は防災の日だが、これは百年前に起きた「関東大震災」が由来だとされている。これまで百年のうちに、震度七以上の大震災が阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震と五回も起きており、震度六強まで加えると、十五回の大地震に見舞われている。台風や水害に至っては、毎年の上



学校：屋上に設置されたGHP&室外機

出所：広島ガスプロパン30年史

日本LPガス団体協議会 HP より

うにどこかで多大な被害を被っている。昨今は温暖化で台風の進路も変化し、日本中でいつ災害に巻き込まれてもおかしくない状態。災害に見舞われて避難所生活を余儀なくされる人の映像がニュースから流れってくるが、学校の体育館に寝泊まりする人にとってはエアコンのない熱帯夜が続く真夏や冬の寒い時期は本当に辛そう。学校の体育館などの空調設置率はわずか一一・九%（二〇二二年九月現在）しかないというのが現実。

クリーンで省エネなGHP

そこで注目されているのが、GHPエアコンだ。GHP（ガスヒートポンプ）エアコンとは、ガスを燃料として高効率のガスエンジ

ンを使って冷暖房を行う空調システムである。

「電源自立型GHPなら停電時でもガスによって空調や照明、携帯電話の充電など電力が使えないこと。消費電力は、GHPなら冷暖房の電気使用量は一〇分の一、発電機能付きGHPなら一〇〇分の一と少ないので基本料金の高い大容量使用の契約が不要なこと。

暖房時は、ガスエンジンの排熱を有効利用するので、GHPの暖房時は、立ち上がり早く、パワフルなど様々な利点がある。また、プロパンは品質劣化せず長期保存に最適のエネルギー」と日本LPガス団体協議会事務局は語る。

供給されるLPガスは、通常見かけるLPガスボンベだけでなく、大きな施設向けの「LP災害バルク貯槽」もあり、GHPエアコンとともに国の補助事業の対象となっている。ここ数年、温暖化による気候変



LP災害バルク貯槽

動で今年も三五℃を超える猛暑が続いた。野球の甲子園など屋外の日中の試合の中止を呼び掛ける人も少なくなかったが、危険なのは屋根付きの屋内の活動者にも熱中症が多発していることだ。体育館などの空調設置は、万が一の避難所の備えとして、また、日常的な生徒の安全性を考える時になくはないものになっていくのだろう。

直近の台風六号による沖縄での停電（約二十二万戸、全世帯の約三五%）で多くの住民が空調なしでの生活を強いられた。いま、少しずつ学校の体育館のGHPエアコン設置が進んでいるのだが、周りの地域の住民の空調設備を欲求する声に込んでいるのだという。

「被災していつまでこの困難な生活が続くのだろうと落ち込んでいた時にさわやかな風が吹いてきた。それがLPガスのエアコンと知らされた時は驚いたが、あまりにも心地よく、また、生きようという気力が湧いてきた」…。

LPガスは、災害の時にも命をつなぐ「ライフライン」となってくれるだろう。